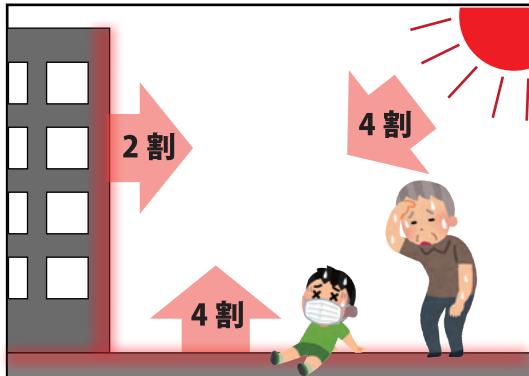


子供は路面に近いんです !!

# 路面温度を下げる熱中症対策をしよう !

## 保水性舗装の活用が急務 !



人が暑さを感じる要素として、太陽光からの日射が4割、路面からの熱が4割、壁面からの反射が2割と言われており、近年の高温化に伴い「路面温度を下げる対策」が今まで以上に重要なになっています。路面との距離が近い、子供や高齢者はより影響を受けやすいと言われています。

『環境省熱中症ガイドラインより』



### 透水性・保水性舗装材 カラーサンドとは

骨材に「高炉水碎スラグ」を使用した、透水性・保水性をもった歩行者向けの舗装材になります。「高炉水碎スラグ」のもつ「多孔質形状」の空隙に雨水を保水することで舗装材の温度上昇を抑え、表面から大気中に蒸発散し、気化熱を奪う「打ち水効果」を発揮し、他の舗装材に比べ、表面温度を10°C以上も下げることが可能です。

カラーサンドに使用する骨材は、鉄鋼副産物の高炉水碎スラグです。



高炉水碎スラグ  
5m/m~0m/mの細骨材です。



スラグの粒子構造  
(拡大)  
微細な空隙に雨水を貯えます。

## 三和かわら版

令和3年7月1日 Vol.21

## 路面温度 (夏期)

計測地: 熊谷市 天候: 晴れ 気温: 31°C

舗装材 表面状態	アスファルト	平板ブロック	カラーサンド
乾燥状態	55°C	54°C	42°C
湿润状態 (散水後30分)	52°C	—	37°C

備考: 検査機器 理化工業(株)サーモメータ(DP-300)

※アスファルト舗装と比べ約10度低く、さわやかな舗装です。

### 【カラーサンドの特徴】

- ・多孔質な骨材を使用することで高い透水性・保水性をもつ
- ・打ち水効果で、他の舗装材より表面温度が10度も低い
- ・高い雨水排出抑制効果でゲリラ豪雨にも対応

